

【ナーシングケア】

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します
(※かんたき=看護小規模多機能型居宅介護 / 看取り対応可能)

Nursing Healthcare ナーシングヘルスケア株式会社

Information

Nursing Care

ナーシングヘルスケア
情報誌
夏号
Vol.12

(※利用者の範囲は制度により限定されています。裏面の施設一覧をご覧ください。)

自宅で、或いは【かんたき】で
寄り添い、癒し、治し、そして看取る



仕事を続けながら親の介護・家族介護のできる環境設定

【かんたき】の営業時間：年中無休

通 い：7：00～21：30

(送迎サービス：初発7：00 自宅着～最終21：30 自宅着)

泊 まり：21：30～7：00

※尚、緊急時医療介護相談は各施設にて24時間体制で受け付けています。

 **24時間・365日の介護サービス**
仕事と介護の両立を目指して

表紙：訪問看護ステーション尼崎 看護師 中村 真美子

総合在宅ケアサービスセンター〈かんたき(有床)+訪問看護ステーション+ケアプランセンター〉

かんたき(看護小規模多機能型居宅介護)とは

介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で療養できるように「通い」「泊まり」「訪問(看護・リハビリ・介護)」を必要に応じ、組み合わせて利用できる地域密着型の介護サービス。ご利用者は要介護度1～5、事業所の所在地の市町村区にお住まいの方が対象となります。



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター上新庄
所在地 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新2-9-8
TEL 06-6815-8808
Mail kamishinjiyou-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター城東
所在地 〒536-0011 大阪市城東区放出西2-14-14
TEL 06-6167-0535
Mail jyoto-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター大東
所在地 〒574-0055 大東市新田本町4番26号
TEL 072-806-3400
Mail daitou-kangotakinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター堺下田
所在地 〒593-8329 堺市西区下田町19番15号
TEL 072-269-0505
Mail sakai-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター尼崎
所在地 〒661-0965 尼崎市次屋1丁目9番1号
TEL 06-6498-0894
Mail amagasaki-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター児島
所在地 〒711-0913 倉敷市児島味野1丁目4番23号
TEL 086-470-5600
Mail kojima-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター河内長野
所在地 〒586-0011 河内長野市汐の宮町12番2号
TEL 0721-56-8655
Mail kawachinagano-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター八尾北本町
所在地 〒581-0802 八尾市北本町4丁目7番14号
TEL 072-923-9200
Mail yaokita-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター武庫之荘
所在地 〒661-0045 尼崎市武庫豊町2丁目12番6号
TEL 06-6431-5535
Mail mukonosou-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター住之江
所在地 〒559-0006 大阪市住之江区浜西2丁目5番4号
TEL 06-6673-2411
Mail suminoe-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター堺長尾
所在地 〒591-8045 堺市北区南長尾町2丁目2番19号
TEL 072-257-1710
Mail sakainagao-kantaki@nursing-hc.co.jp

〈【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します〉

訪問看護ステーション

訪問看護ステーション摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-6317-8567

ケアプランセンター

ケアプランセンター摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-4860-8277



発行 2019年7月 / ナーシングヘルスケア株式会社
編集 営業広報部・企画デザイン室
〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目11番23号 満電ビル
TEL:06-6312-5000 FAX:06-6312-5099
Mail:info@nursing-hc.co.jp http://www.nursing-hc.co.jp



地域の病院・施設が連携を強化する場をつくり、在宅復帰をリハビリの力で実現し患者さんを支える病院でありたい。



地域連携室 八尾キャンパス担当マネージャー 丸毛 知子 看護師
 連携企画室 担当部長 中村 恵里子 看護師
 地域連携室 村田 美佳 看護師

八尾市 八尾はあとふる病院

機能回復に特化し、自宅で過ごせるようリハビリを提供

八尾はあとふる病院は、回復期リハビリテーション病棟59床、地域包括ケア病棟60床を有し、退院後ご自宅安心して暮らせるよう患者さんの機能回復を積極的に行っています。地域連携室は入院調整の前方連携を看護師2名で行い、退院調整（後方連携）を医療相談員5名で行っています。地域連携室では、地域連携スタッフだけでなく、病棟管理者やリハビリスタッフといつでも情報共有でき、コミュニケーションが取れる体制です。院長直轄の部署でもあり、速やかに入院受け入れの対応ができるようになっています。八尾市や東大阪市など急性期病院から相談が多く、月の相談件数は100

八尾はあとふる病院
 八尾市美園町2丁目18-1
 TEL：072-999-0725（代）
 地域包括ケア病棟 60床
 回復期リハビリテーション病棟 59床
 整形外科、リハビリテーション科、内科



件以上、そこから入院される患者さんは約70名で、同時に在宅への退院支援・退院調整を行っています。

回復期リハビリテーション病棟は、急性期病院での治療を終えた、脳出血、脳梗塞などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折や骨盤骨折等の運動器疾患でリハビリテーションを必要とする患者さんに、1日2時間〜3時間の集中的なリハビリテーションを毎日行っています。脳血管疾患の患者さんが、7割近くを占めています。最近では、高齢の患者さんだけでなく、独居で40、50代の若年で脳血管疾患を発症された方の受け入れもあり、働き盛りで仕事復帰したい方のために、就労支援の取り組みにも対応しています。地域包括ケア病棟では、回復期リハ



ビリテーション病棟への入院対象外の方であってもリハビリが必要な方や、肺炎や大腿骨骨折、腰椎圧迫骨折などで痛みやしんどさのためにADLが落ち、自宅での療養生活が難しくなった方の受け入れを行い、再び自宅で過ごせるよう、機能回復するための生活リハビリの提供を行っています。また、ご家族の介護負担軽減のためのレスパイトケアの提供も行い、自宅で生活を継続できるように、橋渡しも行っていきます。このような方々を、時々入院、ほぼ在宅」で支援しています。1日1時間程度のリハビリテーションをほぼ毎日提供しています。入院患者さんの約8割の方が退院後ご自宅や施設に帰られています。在宅（地域）からの受け入れの割合が3割を超え、

これは、全国平均よりかなり高く、周辺の住民や施設の方々に私たちのリハケアの取り組みや熱意を伝えたいと、外部との連携活動にも力を入れて、理解いただけた結果だと思えます。**充実したリハビリスタッフが機能回復を図ります**

当院では、病床数119床に対してリハビリスタッフ数が85人と多く配置しています。これは、入院のみではなく、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリと様々な活動をしているため、患者さんに手厚くリハビリテーションを提供できるように取り組んでいるためです。入院中に、集中的なリハビリテーションを行い、退院後は、さまざまなニーズに応えながら、日常生活や社会生活に有効なリハビリテーションを提供しています。また、リハビリスタッフは、看護師、介護士、相談員など多職種間でも勉強会を頻繁に行い、リハケアの質の向上に努めています。

地域の病院・施設連携の中心的役割を果たす

当院の連携企画室が中心となって、八尾市内の地域包括支援センターで、



病院、介護施設、かんたき、ケアマネジャーが、切れ目なく、段差のないケアを目指し、互いの距離をなくすための勉強の場を設けました。人が怪我や病気を発症してからたどる経過の中で、急性期、回復期、維持期、生活期、終末期とそれぞれの段階において、地域の病院には役割・機能があることを説明し、その違いを理解していただくことが必要であると伝えています。そのような学習場面を通して、医療機関とケアマネジャーとの連携がより強まっていくように対応してきました。その中で、当院の役割をしっかりと伝え、入院中の限られた時間を最大限活用して、患者さんがもとの環境に戻る準備を行い、遅滞なくご自宅・社会復帰できるよう支援を行っています。

※レスパイトケア…介護負担の軽減、休息のための支援

「かんたき」ではグループ丸となって、高いレベルの看護ケアを提供しています

医療度の高い患者さんをお受け入れするにあたり、かんたきでは要求されるケアについて、看護師・介護士・リハビリスタッフそれぞれの基準を設け、マニュアル作りなどの手順化、評価することにより、より高いスキルを身につけられるような教育環境を整えています。どのかんたきの事業所でも一定基準の、高いレベルの看護ケアを受けられる仕組みづくりや、インシデント等の事故をゼロにする目標を立て取り組んでいます。

アイコン化し、提供している主な看護ケア



ナーシングヘルスケアの職員研修



より高い「看護・介護」を目指して



おむつ講座



日時	研修名
2018年8月6日	褥瘡予防・評価・ケアの方法
2018年10月1日	人権学習 認知症の方への対応 虐待について
2018年12月3日	感染予防対策・感染症発生時の対応方法
2019年2月25日	安全な食事介助 嚥下評価 食事形態の選択

ナーシングヘルスケア株式会社は、「かんだき」、「訪問看護ステーション」、「ケアプランセンター」を運営、約360名の職員がご利用者の看護・介護に携わっています。すべての職員が等しく安全で質の高い看護・介護が提供できるようにホロニクスグループ全体で、レベルアップを目指した研修を定期的に行っています。その一部をご紹介します。

安全な食事介助、嚥下評価 食事形態の選択

講師 摂食・嚥下障害対策室 専門課長
摂食・嚥下障害看護認定看護師

林 直子



リスクを早期に発見し、
口腔ケアや嚥下訓練に関わることで
誤嚥性肺炎「ゼロ」を目指す。

超高齢社会における私たち医療従事者の役割として、ご利用者に対する生活の質（Quality of Life）の向上を目的とすることが挙げられます。しかし、高齢者に多くみられる誤嚥性肺炎の発生は、QOLの低下を起すだけでなく、生命予後にも影響を及ぼします。誤嚥性肺炎の対策としては、ご利用者の状況に応じた口腔ケアによる口腔内の清潔の維持、食事摂取時の正しい姿勢の保持、さらに食事形態の調整などが必要となります。

人権学習 認知症の方への対応 虐待について

講師 認知症対策室 専門課長
認知症看護認定看護師

松田 光央



認知症を抱えるご利用者が安心して
穏やかな生活が送れるために
質の高い看護・介護を。

高齢化に伴って、認知機能障害を持つ高齢者も増加しています。認知症を抱えるご利用者は自身の病気や治療について理解することが難しく、身体の病気に対する適切な治療ができずに重症化するおそれがあります。また、認知症が進行したり、身体活動性が低下して寝たきりになりやすく、身体の病気が治っても元の生活に戻れなくなる場合もあります。認知症対策室は、認知症を抱えるご利用者の尊厳を大切に、できる限り快適に、住み慣れた地域で安心して療養生活を送っていただけることを目的として活動しています。

褥瘡予防・評価・ケアの方法

講師 褥瘡対策室 専門課長
皮膚・排泄ケア認定看護師

香川 愛



「褥瘡はつくりたくない」をモットーに
多職種の褥瘡ケアチームが一丸と
なって積極的な予防と迅速な治療へ。

超高齢社会が進む中、病院・事業所にとって「褥瘡予防」は不可欠なケアとなっています。特に、高齢者は加齢に伴う皮膚の菲薄化や筋肉の弾力低下、身体機能の低下により、より褥瘡発生のリスクが高くなります。また、褥瘡を発生してしまうと「治りにくい傷」となってしまふことが多く、長期にわたり生活の質（QOL）を下げる要因となります。褥瘡対策室では「褥瘡発生ゼロ」を目標に、適切な予防ケアの徹底と、褥瘡治療が迅速に進められる日々の看護、介護ケア支援を行い、安楽な療養環境を提供できるよう活動しています。

感染予防対策・感染症発症時の 対応方法

講師 感染対策室 室長
感染管理認定看護師

岡森 景子



細菌やウイルスを持ち込まない、
感染させない。
感染予防と対策を徹底し、
発生時の速やかな対応を。

地域で流行する感染症が事業所内に持ち込まれると、集団感染に陥りやすく、また抵抗力が弱い高齢者の場合は、重症化につながるため、細心の注意を払わなければなりません。感染対策室は、このような事態を避けるべく、感染対策の基本である予防と感染症発生時の適切な対応を徹底することで安全な看護・介護を提供するために活動しています。

かんたき堺下田
看護師 管理者
林 美穂



column

こころのかたち こころの色 思いを紡ぐ
聴診器の向こうがわ

かんたき堺下田は2015年11月に開設し、令和元年に丸4年を迎えようとしています。
私は今年3月より管理職として日々看護師や介護スタッフ、ケアマネジャーとより良い介護サービスを提供できるように奮闘しております。
かんたきでは社会的課題となっている介護離職の防止や、看取りの対応など様々な責務を担っておりますが、今回は医療ニーズの高いご利用者についての体験談をお話させていただきます。

88歳要介護2の女性で人工肛門造設をしており、点滴は毎日24時間しているご利用者です。かんたきに登録し1年8カ月が経ちました。息子様と2人暮らしですが、医療的な協力は得られない為、全面的な看護師のサポートが必要です。小腸ストーマの為、水様便であり便漏れしやすくパウチ交換が頻回の時期もありました。ストーマ外来と連携を取り、都度改善を重ねてきました。点滴はポンプを使用しており、ご本人にも使用方法を指導はしていますが、アラームが鳴ることもあり看護師が緊急訪問する場合もあります。24時間看護師が対応できるという、かんた

きならではのサービスです。ご本人から「私はみなさんに生かされていると思います」という言葉を頂きました。前向きなご利用者で「また登山をしたい」などの希望があり、何歳になっても目標が高いご利用者に私達も励まされ、人生の先輩としての道しるべです。
誰もがいつまでも自宅で過ごしたいという気持ちがあります。在宅生活を支えるかんたきの役割はますます必要となってくると考え、様々なご利用者との出会いを大切にしながら、私の経験が少しでもお役に立てばと思います。
超高齢社会を迎え、人生の最終段階の過ごし方は人様々であります。まして、疾患があり医療ニーズの高い方は何らかのサポートが必要です。自宅で過ごしたいという方の生活を看護、介護、リハビリテーションの面から支え、地域密着型サービスとして地域の皆様に利用して頂ける施設でありたいです。



医療・介護の多職種連携、情報共有を実現し、より質の高いサービスへ!

MELL+
医療・介護連携サービス メルクス

医師、看護師、介護職員、ケアマネ、ヘルパーなど
みんなで連携・情報共有!

wiseman 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5番4号 シーアイビル4階
機ワイズマン 大阪統括支店 TEL.06-6330-0799 FAX.06-6330-0554

患者さんの Quality of Lifeの向上が テイジンの理念です。

TEIJIN

帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 PAD(XX)A40(TB)1201

健康寿命を延ばそう!!

美味しく始めよう!
減塩生活

医療法人医誠会 医誠会病院 栄養管理部
管理栄養士 川手 美穂

塩分を摂り過ぎると、血圧が上がり、高血圧となり、「脳卒中」「心臓病」「腎臓病」のリスクが高まります。
特に日本人の食事は世界基準と比較しても非常に多くの塩分を摂取しています。「血圧が高いのは年齢のせい」と放置せず、毎日の食事の食塩の見直しを心がける必要があります。ちょっとした工夫で美味しく減塩できるコツをご紹介します。



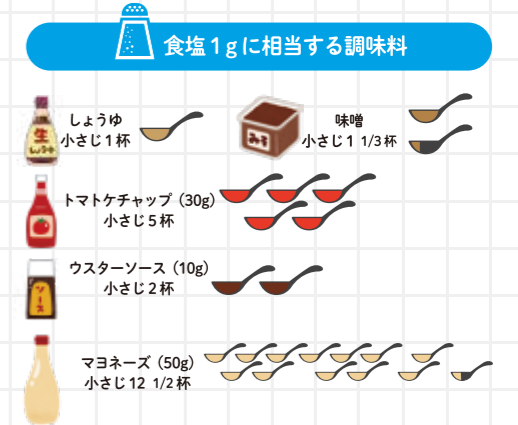
普段食べている食品の食塩量を知っておこう!



- 旬の食材など食材本来の「味」を堪能する
- 食塩を多く含む加工品は、量や回数を減らす
- 食塩の多い嗜好品に注意する
- 麺類の場合、麺と具に1~2g、汁に4~6gの食塩が使われているため、麺類の汁は残せると◎。さらに野菜などプラス1品するとバランスが整う

調味料を工夫してみましょう!

- 味付けは最後に表面につける
- しょうゆやソースは「かける」より「つけて」食べる
- メニューの1品は普通の味付けにして残りは薄味に味付けにメリハリをつける
- 酸味(酢・柑橘類など)の利用
- 香り(青じそ、生姜、にんにくなど)を生かす
- スパイス(とうがらし、カレー粉など)を効かす
- だしやスープの旨みを加える
- 香ばしさやコクを加える
- 減塩調味料(しょうゆ・みそ)の活用



食事の組み合わせ方を工夫しよう!

- 主食、主菜、副菜をそろえバランスよい食事が食塩コントロールに。
- 味噌汁は1杯1g~2gの食塩が使われているため、具たくさんにし、汁は少なめに。また、1日1杯など回数を決めて。
- 野菜などに含まれるカリウムには食塩(ナトリウム)の排泄効果があるため、積極的に取り入れる。

